

週刊センターニュース No.214



第214号(2008年7月7日)毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

共同学習会のご案内

第189回

日時: 7月10日(木) 16:30~18:00

会場: 角間キャンパス総合教育1号館南棟2階大会議室

発表者: 末本 哲雄(大学教育開発・支援センター)

テーマ: 教員FDアンケートの分析 - 第1回 -

概要: 2008年1月25日~2月7日、本学の教員を対象に第1回教員FDアンケートを実施した。

このアンケートは、教育組織の抜本的な改組を前に、人材育成目的に合致した教育成果が得られているかを検証するため、また本学で必要なFDとは何かを検討するために行われた。本発表では全41問からなるアンケート結果を集計し、各学部の教育効果の改善や役立ち具合の印象について報告する。

第190回

日時: 7月17日(木) 16:30~18:00

会場: 角間キャンパス総合教育1号館南棟2階大会議室

発表者: 渡辺 達雄(大学教育開発・支援センター)

テーマ: 「学士課程教育の構築に向けて - 審議のまとめ -」(中央教育審議会大学分科会制度・教育部会、平成20年3月25日発表)を読む

「新入生対象 学習状況および受験等に関するアンケート」集計結果分析

およびそれに基づく提言 - その1 -

当センターが実施しました標記アンケートにつき、教職員の皆様には、学生への周知等、ご協力いただきました。お陰様で、1000名を超える学生からアンケート回答を得ることができました。集計結果分析・提言の第一回目を以下に掲載します(すでに、平成20年度第3回教育企画会議(6月13日)においても概略は報告させていただきました)。なお、設問内容等につきましては、アカンサスポータルに掲載しておりますのでご確認ください。

アンケート名称 「新入生対象 学習状況および受験等に関するアンケート」

実施時期 5月15日~30日

実施方法 アカンサスポータル上

対象学生 1712名 (5月1日現在 1学年現員数)

回答者数 1040名 (最終設問未回答者 約250名 を含む)

人間社会学域 485名、理工学域 320名、医薬保健学域 221名

ご存じのように、アカンサスポータルを使っての新入生アンケートはパソコン必携が始まった2年前から実施しております。平成18年4月実施の新入生アンケートでは、回答者数は1435名(設問によるばらつきあり)でした(当ニュース、第114号(2006年6月19日)掲載)。次に、平成19年7月実施の新入生アンケートは、学域・学類化を直前に控えており、学生募集を中心とした広報に結果を生かすべく、「大学受験等に関するアンケート」と銘打ち実施しました。有効回答者数は898名であり、博報堂の協力を得ての分析結果につきましては、報告会を開催し、冊子版(学内限定)を配布することにより、各部局での学生募集につきご活用いただけるようにしました。

今年度は、学類一期生ということもあり、学部での入学生との違いを明らかにすることを意識して、基本的には昨年度のアンケートをベースにして、設問を作成しました。アンケート回答結果は、締切後ただちに、加納学長補佐（学生募集・入試担当）および山崎学長補佐（広報担当）へ送付いたしましたので、各学類にて、学生募集・広報企画等に役立てていただいていると思います。

さて、今回は、新入生における本学の評価の一端がうかがえる回答を紹介します。

設問16「あなたが本学に実際に入学してみて、以下の項目について、どの程度満足していますか」との設問回答結果により、新入生たちが本学について、特に高い評価をしていると思われるものは次のようになりました。

大学で勉強したい学問を学ぶのに適した学域・学類がある（946名回答）

「満足している」 333名 「やや満足している」 449名

「あまり満足していない」 81名 「満足していない」 28名 他略

大学で勉強したい学問を学ぶのに適したコース・専攻がある（942名回答）

「満足している」 301名 「やや満足している」 424名

「あまり満足していない」 74名 「満足していない」 26名 他略

大学を出てからの将来に適した学域・学類がある（924名回答）

「満足している」 312名 「やや満足している」 422名

「あまり満足していない」 58名 「満足していない」 16名 他略

大学を出てからの将来に適したコース・専攻がある（924名回答）

「満足している」 273名 「やや満足している」 398名

「あまり満足していない」 58名 「満足していない」 17名 他略

勉強に集中できそうな環境である（949名回答）

「満足している」 224名 「やや満足している」 490名

「あまり満足していない」 125名 「満足していない」 37名 他略

これらを見る限り、新入生たちの多くが、新たに誕生した学域・学類・コース・専攻に、卒業後の見通しを含めて学びたいことがあると認識しており、しかも、やりたい学問の勉強に集中できそうな環境だと、本学を評価していることとなります。

角間キャンパスについて、街の中心部から遠いといった主に不便さを理由とした問題点はいかんともしがたいところがあります。ただし、他大学からの来訪者が異口同音に指摘するのは、キャンパスの広さ・新しさだけではなく、学習に専念できる環境ということです。そうした環境を十分に生かして、キャンパスを落ち着いた学び空間とし、授業内容・方法の改善に取り組み、学生たちの期待に答えることが教員に課せられた使命であり、学生支援を中心とした職員の仕事になります。今回の回答は主として総合教育講義棟を中心とした学習環境についての評価であり、今後は、各キャンパス、各建物、そして各部局において、学習環境のいっそうの整備のため、学生の声を活かした改善努力が必要となると考えます。

（文責：教育支援システム研究部門 青野 透）

7月10日（木）開催、学生支援GP「自分を見つけるプログラム - 対人援助のための基本的姿勢」の紹介（保健管理センターHPより転載）

学生支援GPでは、7月10日（木）15:00～17:00に、禅僧の佐々木承玄さんをお招きして、「角間の里」で自分を見つけるプログラムを開きます。佐々木さんには、昨年12月にもお越しいただきましたが、好評につき再登場となりました。日頃、私たちは意識をする、しないに関わらず物事に囚われて、本来の能力を生かせなかったり、正しい判断が出来ないことがあるものです。このプログラムでは、いかにしてそれに気づき、変化していけるかという課題に取り組みます。講義だけではなく、ワークを通して心から体に、体から心に働きかける術を学び、自然体（ただ自然に立つ・座る・呼吸するというあり方）を実践していきます。

参加人数確認のため、メール、電話での申し込みをお願いしています。

メール：sgp@ml.kanazawa-u.ac.jp 電話：076-264-5248 担当：小畑（こばた）